

日マリのバスケットボール交流🏀

マリで生まれ、10歳から日本で育ったカディディア・コナテさんは、日本でプロのバスケットボール選手として活躍しました。



スポーツが心身の発育に非常に重要な役割を果たすと考えるコナテさんは、現在、日本航空学園に勤務し、バスケットボールをはじめとするスポーツの振興のために精力的に活動されています。



2023 年 8 月 5 日、当館は、コナテさんによって企画されたマリにおけるバスケットボール普及のためのイベントに参加してきました。会場は、バマコ青年の家。イベントには、ジブリル・ジビ・ジャラ青年の家代表（写真右）及び福原康二臨時代理大使（写真左）が参加しました。



会場となったバマコ青年の家は非常に象徴的な場所でもあります。日本は、昨年、この青年の家のココナツ園の整備を支援しました。



上蘭英樹駐マリ日本大使は、昨年 10 月の落成式の際に、青年の家が様々なバックグラウンドを持った若者たちが交流し、相互理解を深める場になることを願っていると述べました。

ぎらぎらと照りつけるまぶしい太陽に負けなくらいの若きバスケットボール選手の皆さんの熱気と、その洗練された一挙手一投足に大きな歓声をあげる観客の皆さんの熱気が、会場を包みました。





日本とマリの友好関係がこうしたイベントを通じて官民の両方において強化されることを嬉しく思います。